

- 国連軍・NATO 軍・西欧系諸国の正規軍を”連合軍”とします。
 - 想定する軍隊の装具・銃器を模した物を基本装備とします。
レプリカ装具はOKですが、あまりに掛け離れた代用装具や、実物が存在しない
又は設定された想定地域で存在しえない銃器を模したトイガンの使用は禁止です。
 - ヘルメットおよびボディアーマーが必須装備になります。この2点が「連合軍マーカー」です。
- 当日現地でシチュエーションに沿わないと判断された場合は状況に参加出来ない
場合があります。その際はレンタル装備(有料)にて民族戦線側で参加可能です。

部隊ごとのドレスコード

装備・装具の是非は運営委員会スタッフの判断を優先します。
「この装備での参加は大丈夫かな」という方は、事前にお問い合わせ下さい。

階級章を戦闘服などに付ける場合は”軍曹”以下にして下さい。
”曹長”以上の階級章を付ける場合は事前にご申告下さい。高位階級を付ける代わりに、
小隊長(命令の中継等)をお願いする場合がございます。

正規軍一般兵

各国正規軍装備を基本とします。

ヘルメット、ボディアーマーが必須装備となります。キャップやベレーを被る場合でも、
必ずヘルメットを携行して下さい。

ウェブ上の各画像アップロードサイトなどで実際の画像として検証されている装備
またはそれに近づけるべくアレンジしたものを中心とします。雰囲気重視します。
判断の是非が難しい場合はお問い合わせ下さい。

特殊部隊

各国特殊部隊装備になります。一般兵装備から逸脱したものが多いため、必ず申し込み時に詳しい
装備内容を申告して下さい。ヘルメット・ボディアーマーが必須です。

一般兵・特殊部隊ともに、国連の要請によって現地入りした治安維持軍という扱いです。

自衛隊

復興支援活動のために現地入りした自衛隊員という設定です。ヘルメットとボディアーマーが必須です。

武装は許可していますが、対人射撃は基本的に許可されていません。(シチュエーション上も、過去許可された事は稀です)
円匙(スコップ)があると便利です。

民間軍事会社(PMC)

PMCはスタッフを中心とした雑用係となっております。どうしてもPMC装備で参加したいという方は、事前にお問い合わせ下さい。ヘルメット・ボディアーマーが必須です。

その他のお問い合わせは遠慮なくお問い合わせ下さい。

手持ちの装備をどうアレンジすれば参加出来るか、などのご質問も歓迎です。

MMM 民族戦線装備・明日香縫製 (kalash@militia.jp)

MMM 連合軍装備・Heavy 少佐 (heavy@militia.jp)